

【目次】

1. 劇作家・故菊田一夫の詩「民主社会党におくる」「忘れるな大衆の願いを」を展示！
2. 労使関係研究協会が第25回労働講座を開催、9月26日！
3. アジア連帯委員会CSAが第37回定期総会を開く、9月28日！
4. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開かれる、9月14日！

1. 劇作家・故菊田一夫の詩「民主社会党におくる」「忘れるな大衆の願いを」を展示！



友愛労働歴史館には現在、故菊田一夫（1908.03.01～1973.04.04、劇作家・作詞家）の詩「民主社会党におくる」と詩「忘れるな大衆の願いを」が、並んで展示されています。

これらは1962（昭和37）年4月23日に開かれた「学者・文化人による民社党をはげます会」で披露されたもので、当日、会場には大扇子に揮毫された菊田一夫の詩「忘れるな大衆の願いを」が置かれ、人々の注目を集めました。また、巻紙に揮毫された菊田一夫の詩「民主社会党におくる」が、徳川夢声により朗読されました。

「はげます会」の後、詩「民主社会党におくる」は額装され、民社党本部に掲示されて長く大切に保管されてきました。しかし、1994年の民社党解散後、継承団体の民社協会に移され、2012年に当歴史館へ寄贈。一方、大扇子の詩「忘れるな大衆の願いを」はその後失われ、後に写真が発見されて、元民社党本部大西正悦が臨書し、当館に寄贈されました。



これを受け友愛労働歴史館は9月4日、詩「民主社会党におくる」の横に詩「忘れるな大衆の願いを」を展示しました。菊田一夫の二つの詩は、1962（昭和37）年の「民社党をはげます会」以来、55年ぶりに一堂に会したのです。

詩「民主社会党におくる」 菊田 一夫

庶民は政治というものを知らない 庶民は春の陽炎のなかに いつも睡たげな眼をしてのどかに暮していればいいものだから……

政治が悪いとき 乱暴者が世にはびこるとき 庶民はひよいと眼をさます 政治はどうなっているのだろう

政治とは中庸の道ではないのかしら 古すぎては困り 激しすぎては世の中がひっくりかえる その中庸の道も世につれて進んでゆく 政治は常に世間より一步進んでよい加減 二歩進めば怪我人がでる ……とって 退歩すれば 政治というローラーにひきつづかれて死ぬ人も出る

民主社会党は中道の政党 中庸とは昼寝をしていることではない 政党が庶民のせっかくの特権を奪ってはならない

日本人は中庸を好む国民だ 自分個人の人生には いつも中庸の道を選んでいる そのくせ…… 他人様を批判するときは いつも、前か後か、右か左か、赤いか白いか……

それは……自分個人の選ぶ道が、勇気のない卑怯さからの中庸の道だからである 自分自身に勇気がないから 他人様に激しさ古さ、右か左かを求めるのだろう

激しさには喝サイが与えられる 古さと頑迷には老人達の拍手がおくられる 意気地なしと云われながら 中庸の道を選ぶには勇気がいる

民主社会党よ 日本国を 我々の国を 正しい軌道に進めるための激しい闘かい起したまえ
国民は一億 ほんとうは、みんな破壊主義でない 頑迷でない ほんとうの民主主義 新しい道が好きなのです。

詩「忘れるな大衆の願いを」 菊田 一夫

民社党が退けば 民主主義が退く 民社党が進めば 民主主義の花が咲く
国民大衆は 民社党の勝利を神に願っている 物言う口も 物言わぬ目も・・・
物言う口も 物言わぬ目も ジッと民社党を見凝めている
忘れるな 大衆の願いを 祈りを・・・

2. 労使関係研究協会が第25回労働講座を開催、9月26日！

友愛労働歴史館とともに（一財）日本労働会館の公益事業の一端を担う労使関係研究協会は、9月26日午後に第25回労働講座を当館研修室で開催しました。講師は相馬末一氏（元ゼンキン連合書記長、同副会長）、テーマは「民主的労働運動と共に」で、参加者は約40名。講演の中で相馬末一氏は、自らの体験に基づく中小労働運動の強化と人材養成の必要性について訴えました。

3. アジア連帯委員会 CSA が第37回定期総会を開く、9月28日！



アジア連帯委員会 CSA（吉井眞之会長）は9月28日（金）15:00～16:30、第37回定期総会を連合会館3階の連合 AB 会議室で開催しました。総会は吉井会長挨拶の後、来賓として連合の南部美智代副事務局長、ラオス大使館のウォンサク代理大使がそれぞれ祝辞を述べました。その後、報告・協議事項に入り、2016年度事業報告・同監査報告を了承。また、協議事項では2017年度事業計画と同予算などを承認しました。日本労働会館・友愛労働歴史館から間宮事務局長が、評議員として出席しました。

4. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開かれる、9月14日！

NPO法人・働く文化ネットが毎月、第二木曜日に開催している労働映画鑑賞会は9月14日（木）夜、連合会館会議室で開催されました。41回目となる今回の鑑賞会では、『機関車 C57』（1940年、モノクロ 35分）と『貨物列車』（1963年、モノクロ 35分）の2本が上映されました。

次回は10月12日（木）18:00～から、『機関車小僧』（1949年、モノクロ 30分）と『ポンせんべい』（1950年、モノクロ 30分）の2本が上映されます。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

唯一館から123年、友愛会から105年